

早期高糖で茎重型のサトウキビ新品種「NiN24」

我が国南西諸島におけるサトウキビの生産性向上を図るためには、収穫時期の一層の早期化が必要です。また、同地域では手刈り収穫も広く行われており、1 茎の重い品種も求められています。

そこで、多収で1 茎が重く、秋から初冬季の収穫にも対応できる早期高糖性の品種を育成しました。

技術の概要

1. 「NiN24」は、「F167」を種子親、「CP57-614」を花粉親に用いて種子を得、1991 年に実生選抜を実施して以降、1 茎重と高糖性を重視して選抜した品種です（表1）。
2. 沖縄本島南部における1 月～2 月の収穫では、「NiF8」に比べ、1 茎が重く原料茎重が重い
ため、可製糖量が多くなります（表1）。
3. 夏植え型栽培（8 月～9 月の植付）による早期収穫では、「NiF8」に比べ、原料茎重が重く、
可製糖量が多い特性を示します（表2）。また、11 月収穫の甘蔗糖度は基準糖度（13.1%）
以上で、10 月からの収穫が可能な年もあります。
4. 株出し栽培で発病の多い黒穂病に対する抵抗性は“強”と区分されます（表1）。

表1 「NiN24」の特性概要

	NiN24	NiF8
1 茎重 (g)	1102 (118)	935
原料茎重 (kg/a)	773 (115)	670
甘蔗糖度 (%)	14.7 (97)	15.1
可製糖量 (kg/a)	107 (111)	96
黒穂病抵抗性	強	強

表2 夏植え型栽培による「NiN24」の早期収穫
調査結果（沖縄県農研センター奨決：那覇市）

収穫月	作型	原料茎重 (kg/a)	可製糖量 (kg/a)
10 月	新植 株出し	1160 (133) 707 (145)	134 (141) 92 (146)
11 月	新植 株出し	1252 (112) 768 (123)	162 (116) 111 (126)
12 月	新植	931 (131)	128 (131)

注：() 内は同じ標準品種 NiF8 に対する比率(%)を示す。

活用面での留意点

1. 沖縄県が本島南部地域を対象に、11 月収穫にも対応可能な品種として奨励品種に採用を予定しています。
2. 新植で11 月収穫を行う場合には、夏植え型（8 月～9 月の植付け）で栽培します。
3. 重粘なジャーガル土壌における春植えでは、硬化していない充実した芽子を持つ健全な種
苗を用いるとともに、過覆土とならないようにします。
4. 詳細は九州沖縄農研（電話 096-242-7530, q_info@ml.affrc.go.jp）へお問い合わせ下さい。
（中央農業総合研究センター 研究管理監 寺島一男）